



八坂中学校だより

令和5年1月6日（金）

1月号

大町市立八坂中学校

「たすき」をつなぐ

1月6日（金）3学期始業式校長講話より

新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

お正月の風物詩である「箱根駅伝」を私は毎年楽しみに見えています。長野県出身の選手は何人出場するか、優勝はどのチームか、来年も出場できるシード権争いはどうなるか、いろいろな見どころがあります。そして、華々しくテレビカメラが追いかける見どころとは別に、「繰り上げスタート」という戦いがあるのを知っていますか？駅伝は、何人かの選手がリレーで言えばバトンの役割を果たす「たすき」をつないで走る競技ですが、箱根駅伝では、先頭のチームから一定時間離されると、前の走者が到着しないうちに次の走者がスタートする「繰り上げスタート」というルールがあり「たすき」を受け渡すことはできないこととなります。今年も、二つのチームが繰り上げスタートになりました。ニュースによると、あるチームはわずか10秒で繰り上げスタートとなり、選手がゴールした時に、次の走者の背中から数十メートル離れてすでにスタートしていました。「A選手は泣きそうな表情になりながら駆け込んだ。ゴールすると、回転する勢いで倒れ込んだ。手にしていたタスキが次の選手にわたることなく、地面に落ちて、仲間が拾い、続いてA選手のおえつが響き渡った。」とあります。苦しいトレーニングに耐え、走者に選ばれ、当日20キロ以上も走りタスキをつなげなかったとしても、だれもこの選手を責めることはできません。でも、次の選手にタスキを渡せなかったことへの悔しさや無念が表れていると思います。同時に、つなぐことの大切さも感じました。



さて、3学期は「たすきをつなぐとき」です。1年生は新生入生に、2年生は1年生に、3年生は2年生に。そして、八坂中学校は、山村留学などで新たなメンバーを迎えることの多い学校です。全校で、新たな仲間「たすき」をつないでほしいと思います。

駅伝ではたすきが目に見えていますが、私たちが八坂中学校でつなぐ「たすき」って何だと思えますか。例えば、生徒会では引継ぎが行われて、それぞれの役割などが引き継がれました。他にはどうでしょうか。

私がつなぎたいたすきは、「八坂中学校」のすばらしさです。

例えば、1学期と2学期に「学校生活に関するアンケート」を実施し、皆さんに回答してもらいました。結果は、classroomで公開していますので、是非見てください。

アンケートに表れているのは、仲間の良いところを認め合い、仲間と話し合っって課題を解決しようとする皆さんのすばらしさです。また、君たちの学びを支え、「問いをもって学ぶ八坂の子」の実現に向けて授業の改善に取り組んでいる職員もいます。

さらに、八坂中学校のために力を貸して下さる地域の方々に恵まれた学校です。

4月1日に、八坂中学校は「八坂小中学校」という新たな学校になります。だからこそ、新たな学校に何をつないでいくかがとても大事だと思っています。1学期には、学校の宝、とりわけ校舎前にある石碑「誠をかたれ 勇気をもて 涙のある人となれ」についてお話をしました。このような八坂中学校がたどってきた歴史、関わってきてくれた方々の思いをつなげることも大切だと思います。3学期の登校日数は48日です。私たちは、日々の生活を大切に、新たな学校につながる価値のある学校を目指していきましょう。